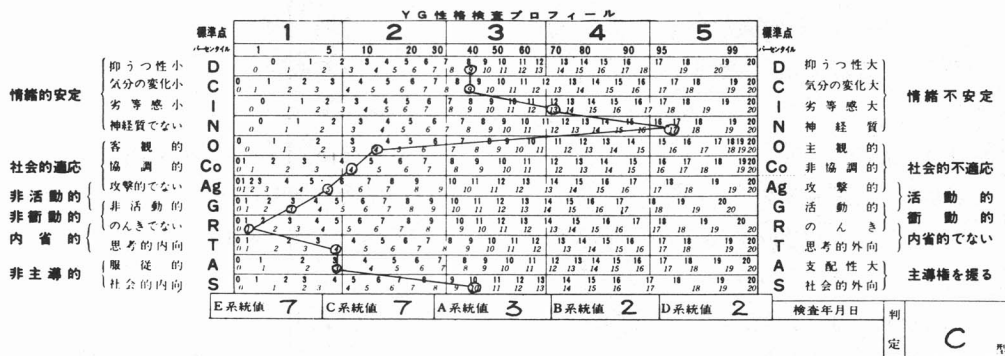


Y-G 性格検査プロフィールと所見(B子の例)



Y-G 性格検査から見た性格の特徴	情緒安定，社会的適応，消極型に近いが，因子間のまとまりの悪い点がある。特にこの型にしては，情緒の安定性が弱く，劣等感が大きく，極めて神経質である。また，ものにこだわり，弱気なのに社交的といった矛盾する因子もみうけられる。
教師のかかわり	神経質になりすぎて行動できない点，生活全般にわたって自信の持てない要因があれば，それを取り除くような援助が望まれる。

ここでは，Y-G 性格検査の結果から見た性格と，その性格を生かした教師のかかわり方の例を示した。

イ 微候観察記録

日常生活の様子や，学習に対する取り組み方，日々の英語授業における活動の状況，業間における質問の内容やその指導について，その都度記録，累積し，生徒一人一人の特性を具体的な場でとらえることにより，個によりよく応じようとしたものである。特に，質問を通しての生徒とのかかわりについては，個別指導上重要な記録となったと考えている。

したがって，個別化をはかるための有効な資料にもなったことから，「学習指導カード」と並列にして，その例を示した。(P58, 参照)

ウ 英語の学習についてのアンケート

生徒一人一人の英語の学習への対処の仕方や，英語に対する興味・関心などの意識を知るために，次のようなアンケートを実施した。

なお，これらは，事前，事後の情意面や，英語学習に対する取り組み方などの変容を知り，そこから解決策の効果の判定を見るための，一つの検証資料として使用した。

その具体的内容の主なもの次は次の通りである。

- 予習的課題による予習，復習に対する変容
  - 3領域4技能とのかかわり
  - 「学習のめあて表」の効用
  - つまづきやわからないことへの対処の仕方
- 次ページにその実例を示した。